

2025 年 8 月 15-17 日 白峰三山山行記録 メンバー L 岩田（記録）村中 小嶋 森田

ずっと行きたかった、3000m の縦走、白峰三山を歩きました。

二泊三日の夏合宿、4 人用テント、1600m の登り、稜線の上り下り、そして農鳥からの激下り。劔岳山行で、室堂から別山乗越までの登りで力尽きたので、とても不安。余計なものをできるだけ持たずに、メンバー全員荷物を軽くして歩きました。

1 日目

一つ目の課題は奈良田の駐車場とバス。広河原に比べて容量が少ないので混雑を心配したが、お盆休み中なのに予想外の余裕な状況。天候を懸念してか？あんまり人気がないのか？よかったよかった。

二つ目の課題は広河原から肩の小屋までの 1600m のテント泊装備での登り。予想通り、白根御池小屋からの急登が暑くつらかったが、ここはペースを守って、何とかクリア。

三つ目の課題のテン場も予想外に空いており、難なく良い場所に 4 テンを張れた。

そして、肩の小屋でキャンピング！その後雨がぱらついたが、風は弱く問題なし。

2 日目

朝まで雨がぱらついて、天候が心配だったが、歩行途中は霧雨で一時雨具を羽織ったくらいで風がなく問題なかった。逆に日差しが弱くてそんなに暑くなく、助かった。そして、水蒸気が多く、雲が発生して素晴らしい景色が見られた。

1 座目 北岳

肩の小屋から北岳までの登りでは、素晴らしい雲海が見られた。景色を見ながらゆっくり登ることで、山頂へ到着。

2 座目 間ノ岳

雲が厚く霧雨の中、上り下りを繰り返す。天候が悪いので雷鳥との遭遇を期待しながら歩くが、いない。登山道の周りにハイマツがあるが、背丈が低いものが多い。ハイマツの成長が悪いからいけないのか？途中一時霧雨から雨っぽくなり、雨具を羽織ったり脱いだりしながら歩く。

やっと間ノ岳かと思ったら、だまされること数回。広い間ノ岳の山頂に到着。30 年以上前に来た時の記憶と違う。もっと緑が多い山頂で周りの山々の絵を描いた記憶があったのだが・・・

間ノ岳から下る途中、忘れたところに雷鳥。あるあるですね。親鳥一羽と幼鳥が二羽、こちらを怖がらずにずっと登山道に添って何かを食べながら歩いている。離れていくまでずっと見ていた。

そして、農鳥小屋へ。やたら早く着いたため、テン場には 1 張りのみ。広い場所を確保してテントを張る。その後水場まで行き、水汲み & 頭から水浴び。タプリー水が出ており、気持ちが良い。3000m の稜線で水が遠慮なく使えるのがとてもありがたい。夜、少し雨がぱらついたが、風がなく問題なかった。

3 日目

今日は少し天候が期待できそう。ただし、逆に風が強い。起床から朝食食べて、出すもの出して、テントをたたんで出発まで、1 時間 30 分かからず、2 日目の朝より早くなった。強風の中、農鳥岳に向け登ると滝雲がすごい勢いで流れていく。

【コースタイム】

1 日目

5:30 奈良田

(バス)

6:30 広河原

9:20 白根御池小屋

13:00 肩の小屋

2 日目

4:50 肩の小屋

5:30 北岳

9:30 間ノ岳

10:50 農鳥小屋

3 日目

4:30 農鳥小屋

5:30 西農鳥岳

6:10 農鳥岳

9:30 大門沢小屋

13:40 奈良田

3 座目 農鳥岳

西農鳥岳まで、急登だが景色を見ながらゆっくり登るとあっさり到着した。そこから農鳥岳までが意外と時間がかかるのですね。農鳥岳山頂は、ちょうど逆光で、登山者が素晴らしいシルエットとなりカッコ良い。いい感じの写真を撮った。

さあ下りだ。前日は雨で滑って頭にけがをした人がいたとの情報だが、今日は晴れ間がのぞき登山道が乾燥しており、あまり滑らなくて助かった。休憩しながら落ち着いて下る。大門沢小屋は昔からの小屋の風情。のんびり休憩した。小屋からは沢沿いの登山道で沢を渡るところがあり、水好き女子が熱くなった体を冷却する。その後も長い下りが続き、慎重に降りる。途中、一人が足をひねったため、荷物を軽くして、テーピングを巻きペースを落として下山した。

下山後は、奈良田温泉女帝の湯で疲れを落とした。古い木造建築で、ぬるぬるしたお湯、風が通る気持ちのいい休憩室と、とても良い温泉でした。

～草すべりのきつい登り～



～ガスの中でテント設営～



～北岳山頂～



～乾杯～



～美しい雲海～



～間ノ岳山頂～



～雷鳥の親子と遭遇～



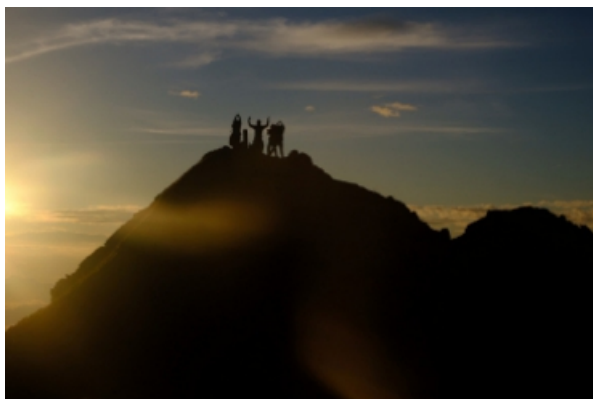
～激流の滝雲～



～西農鳥岳山頂～



～農鳥岳上の我らがパーティ～



～水好き～



～橋で沢を何度も渡る・渡渉もあり～



～最後は奈良田温泉女帝の湯～

